

No.	610-080	事務事業名	霧島商工会議所活動支援事業	所 属 部	商工観光部			
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	所 属 課	商工観光政策課			
	施策名	0 2	商工業の振興	課 長 名	細山田 孝文			
	基本事業名	0 1	商工業者に対する経営支援	所 属 G ( 係 )	商工労政グループ			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 2	101090	その他商工振興費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
商工業者を対象に、経営相談や講習会等を開催し、経営支援を行っている霧島市商工会議所に対し、事業費等の補助を行い、活動を支援する。 補助金交付の流れ(申請 交付決定 事業実施 実績報告 補助金支出) 平成20年度の実績、霧島商工会議所への補助金額8,285千円)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 35 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)	
(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様。	ア 霧島商工会議所への補助額 千円 イ 経営相談件数 件 ウ 講習会実施回数 回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 霧島商工会議所会員 < 補助金交付先 > 霧島商工会議所 < 補助対象活動 > 市商工会の運営及び活動に要する経費。	対象指標(対象の大きさを表す指標)
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 経営相談や講習会開催等の様々な支援事業に参加でき、経営知識が深まる。	ア 霧島商工会議所の会員数 人 イ ウ
結果(どんな結果に結び付けるのか) 商工業の経営が安定する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	ア 講習会参加者数/会員数 % イ ウ
	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)
	ア 利益が出ている事業所数(法人市民税の課税者数) 事業所 イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	11,925	8,435	8,285
事業費計(A)		千円	11,925	8,435	8,285	7,456
活動指標	ア	千円	11,925	8,435	8,285	8,285
	イ	件	1,771	1,972	1,820	1,820
	ウ	回	13	15	13	13
対象指標	ア	人	1,232	1,232	1,376	1,376
	イ					
	ウ					
成果指標	ア	%	21	30	20	20
	イ					
	ウ					
上位成果指標	ア	事業所	2,856	3,009	3,025	3,000
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和35年5月20日に商工会法が施行され、同年8月1日で霧島商工会議所の前身である国分市商工会が設立され、設立と同時に補助を行ってきている。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 商工会は平成19年4月1日に溝辺町商工会、横川町商工会、牧園町商工会、霧島町商工会、隼人町商工会、福山町商工会の6商工会が合併し、霧島市商工会として発足することとなり、市内に商工会議所と商工会の2団体が存在することになった。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし

事務事業名	霧島商工会議所活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある (理由) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている (理由) ↷																											
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある (理由) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である (理由) ↷																											
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある (理由) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である (理由) ↷																											
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある (理由) ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない (理由) ↷																											
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 (理由) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 (その内容) ↷																											
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島商工会活動支援事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある (理由) ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない (理由) ↷																											
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある (理由) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない (理由) ↷																											
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある (理由) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である (理由) ↷																											
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		総合的な商工業者支援の実現のためには、商工会議所への補助は必要である。ただしその事業内容・費用対効果については今後も検証・精査していく必要がある。商工会との連携は、根拠法や対象者が異なるため難しい。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市では補助金の見直し指針を示しているが、その実現には担当者個人々の取り組み・能力に頼っているところであり、他補助制度との基準設定に差異が生じることは否めない。これは、補助対象者にとっては不公平であり、また、厳格に行う担当者こそ批判の対象となってしまうものである。抜本的な見直しのためには、より明確な基準を示したうえで、全庁的な取り組みが必要である。																														

No.	610-090	事務事業名	市商工会活動支援事業				所属部	商工観光部
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				所属課	商工観光政策課
	施策名	0 2	商工業の振興				課長名	細山田 孝文
	基本事業名	0 1	商工業者に対する経営支援				所属G(係)	商工労政グループ
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	
	一般	0 7	0 1	0 2	101090	その他商工振興費	根拠	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
商工業者を対象に、経営相談や講習会等を開催し、経営支援を行っている霧島市商工会に対し、事業費等の補助を行い、活動を支援する。 補助金交付の流れ(申請 交付決定 事業実施 実績報告 補助金支出)							事業期間 単年度のみ 単年度繰返 ↳ ( S 35 年度 ~ ) 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)

20年度実績(20年度に行った主な活動)  
事務事業の概要と同様。

21年度計画(21年度に計画している主な活動)  
前年度と同様。

対象(誰、何を対象にしているのか)\*人や自然資源等  
霧島商工会会員  
<補助金交付先>霧島商工会  
<補助対象活動>商工業者を対象に、経営相談や講習会を開催し、経営支援を行う。

意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)  
経営相談や講習会開催等の様々な支援事業に参加でき、経営知識が深まる。

結果(どんな結果に結び付けるのか)  
商工業の経営が安定する。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)

名称		単位
ア	霧島商工会への補助額	千円
イ	経営相談件数	件
ウ	講習会実施回数	回

対象指標(対象の大きさを表す指標)

名称		単位
ア	霧島市商工会の会員数	人
イ		
ウ		

成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)

名称		単位
ア	講習会参加者数/会員数	%
イ		
ウ		

上位成果指標(結果の達成度を表す指標)

名称		単位
ア	利益が出ている事業所数(法人市民税の課税者数)	事業所
イ		
ウ		

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業内訳	財源内訳	単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
		国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	19,868	18,175	15,600	14,135
		事業費計(A)	千円	19,868	18,175	15,600	14,135
		活動指標					
		ア	千円	19,868	18,175	15,600	15,600
		イ	件	39	40	30	30
		ウ	回	8,903	8,900	8,359	8,359
		対象指標					
		ア	人	1,403	1,368	1,376	1,376
		イ					
		ウ					
		成果指標					
		ア	%	47	49	49	50
		イ					
		ウ					
		上位成果指標					
		ア	事業所	2,856	3,009	3,025	3,000
		イ					
		ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和35年5月20日に商工会法が施行され、同年9月に横川町、10月に隼人町・福山町、11月に牧園町・霧島町の商工会が設立され、S38年6月に溝辺町商工会が設立され、管内の全てに商工会が設立され、設立と同時に補助を行ってきた。

事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

商工会は平成19年4月1日に溝辺町商工会、横川町商工会、牧園町商工会、霧島町商工会、隼人町商工会、福山町商工会の6商工会が合併し、霧島市商工会として発足することとなり、市内に商工会議所と商工会の2団体が存在することになった。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

特になし

事務事業名	市商工会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課																									
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島商工会議所活動支援事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		総合的な商工業者支援の実現のためには、商工会への補助は必要である。ただしその事業内容・費用対効果については今後も検証・精査していく必要がある。商工会議所との連携は、根拠法や対象者が異なるため難しい。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														
運営補助事業については、その積算が曖昧な部分が多い。市では補助金の見直し指針を示しているが、その実現には担当者個々人の取り組み・能力に頼っているところであり、他補助制度の基準設定に差異が生じることは否めない。これは、補助対象者にとっては不公平であり、また、厳格に行う担当者こそ批判の対象になってしまうものである。抜本的な見直しのためには、より明確な基準を示したうえで、全庁的な取り組みが必要である。																														

No.	610-100	事務事業名	商工業資金利子補給事業	所属部	商工観光部		
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり	所属課	商工観光政策課		
	施策名	0 2	商工業の振興	課長名	細山田 孝文		
	基本事業名	0 1	商工業者に対する経営支援	所属G(係)	商工労政G		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 7	0 1	0 2	101010	中小企業対策事業	霧島市商工業資金利子補給補助金交付規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
市内商工業者の育成及び商工業の振興を目的に、制度資金の借入者に対し、補助金を交付する。 [対象者] 霧島市内に事業所を有し、商工会議所又は商工会に加入かつ市税を完納している商工業者。 [対象資金] 商工会議所または商工会を通じて利用した鹿児島県制度資金などが対象。ただし借入期間が1年未満の資金などは対象外。 [補助額] 単年度補助。毎年1月から12月の借入金額の1% (千円未満切捨) とし、補助額は20万円を上限に交付。ただし、平成20年12月10日から平成22年3月31日までに融資を受けた場合、借入金額の2%。補助額上限は40万円。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (S 40年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>補助件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	補助件数	件	イ			ウ		
名称		単位											
ア	補助件数	件											
イ													
ウ													
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様													
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 霧島市内に事業所を有し商工会議所又は商工会に加入しかつ市税を完納している商工業者 < 補助金交付先 > 霧島商工会議所又は霧島市商工会 < 補助対象活動 > 条件に合致した商工業者の借入に対する利子補給補助。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>商工会議所・商工会会員数</td><td>名</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	ア	商工会議所・商工会会員数	名	イ			ウ		
対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位											
ア	商工会議所・商工会会員数	名											
イ													
ウ													
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 利子負担が軽減する。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>補助件数 / 商工会議所・商工会会員数</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	ア	補助件数 / 商工会議所・商工会会員数	%	イ			ウ		
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位											
ア	補助件数 / 商工会議所・商工会会員数	%											
イ													
ウ													
結果(どんな結果に結び付けるのか) 商工業者の経営が安定する。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>利益が出ている事業所(法人市民税の課税者数)</td><td>事業所</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	ア	利益が出ている事業所(法人市民税の課税者数)	事業所	イ			ウ		
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位											
ア	利益が出ている事業所(法人市民税の課税者数)	事業所											
イ													
ウ													

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	19,636	23,328	24,797	59,132
		事業費計(A)	千円	19,636	23,328	24,797	59,132
活動指標	ア 件	255	288	262	449		
対象指標	ア 名	2,663	2,635	2,610	2,629		
成果指標	ア %	10	11	10	17		
上位成果指標	ア 事業所	2,856	3,009	3,025	3,000		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 合併前の牧園町において、昭和40年に牧園町商工業振興資金融資規則が制定されており、これと同様の利子補給補助事業が開始され、商工業者への補助が始まった。平成17年の1市6町の合併により、補助率の統一が行われ拡充することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 未曾有の不景気により、平成20年12月10日から平成22年3月31日までに融資を受けた場合、借入金額の2%。補助額上限は40万円と補助率と上限をあげた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 借入をして補助を受けた商工業者からは、借入時の負担軽減が図られたとの声が寄せられている。また、議会では市独自の制度資金創設の意見があった。	

事務事業名	商工業資金利子補給事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 旧市町で実施している各利子補給制度 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市内の商工業者に対し本事業の周知を図り、また、商工会議所・商工会に対し、会員の拡充を促す必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。																														

政策体系	No.	610-110	事務事業名	中小企業災害復旧資金利子補助事業	所 属 部	商工観光部			
	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり		所 属 課	商工観光政策課			
	施策名	0 2	商工業の振興		課 長 名	細山田 孝文			
	基本事業名	0 1	商工業者に対する経営支援		所 属 G ( 係 )	商工労政 G			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	霧島市中小企業災害復旧資金利子補助金交付	
	一般	0 7	0 1	0 2	101010	中小企業対策事業	根拠	規則	
								電話番号	45-5111

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
中小企業者等が災害復旧のために借入れた資金について、金利負担を軽減するため、補助金を交付する。 【対象者】指定災害について復旧目的で借入れを行った中小企業者等。 【対象資金】㈱日本政策金融公庫、中小企業金融公庫、商工組合中央金庫の資金、鹿児島県中小企業制度資金融資要綱に規定する緊急災害対策資金及び県内市町村制度資金。 【補助額】1月から12月の金融機関に支払った利息の各融資区分ごとに算出した額。 【補助期間】償還開始(支払利息開始のみを含む。)の日の属する月から起算して5年間。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 補助金を交付した中小企業企業者の件数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	指定災害に遭い、復旧のため資金借入れを行った中小企業者 < 補助金交付先 > 資金借入れを行った中小企業者 < 補助対象活動 > 中小企業者等が災害復旧のために借入れた資金について、金利負担を軽減するため、補助金を交付する。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	中小企業の当該資金に係る金利負担の軽減が図られる。	名称	単位
結果(どんな結果に結び付けるのか)	商工業者の経営が安定する。	ア 指定災害に係る災害資金借入れを行った中小企業者等数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 補助金を受けた中小企業者の倒産件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 利益が出ている事業所数(法人市民税の課税者数)	事業所
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円	72	148	124	98	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円	72	148	124	98	
活動指標	ア	件	1	1	1	1		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	1	1	1	1		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	件	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	事業所	2,856	3,009	3,025	3,000		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成18年7月の県北部豪雨災害の被害が甚大だったことに鑑み、県において中小企業者等に対する生活再建支援対策のため鹿児島県中小企業災害復旧資金利子補助金交付要綱の改正が行われた。それを受け、本市も補助金交付規則を制定し本事業へ取り組むこととなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	中小企業災害復旧資金利子補助事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課
-------	------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 商工業資金利子補助事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	当該事業は、県補助事業のため市財政への負担もなく、また他の利子補助補助率よりも補助率が優遇されており、市や被災事業者にとって有利な事業であり、現状を維持する。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策



No.	610-120	事務事業名	店舗改装利子補給事業及び勤業資金利子補給事業			所 属 部	商工観光部
						所 属 課	商工観光政策課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			課 長 名	細山田 孝文
	施策名	0 2	商工業の振興			所 属 G ( 係 )	商工労政グループ
	基本事業名	0 1	商工業者に対する経営支援			電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	隼人町店舗改装利子補給金交付規則 隼人町商工勤業資金融資規則
	一般	0 7	0 1	0 2	101010	中小企業対策事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
旧隼人町からの継続事業であり、旧隼人町内の商工業者で合併までに店舗改装を既に行い借り入れた資金を返済中の方、及び既に勤業資金を借り入れ返済中の方に対して利子補給を行う。ただし4社とも繰上げ償還を行なったため平成20年度で終了。 平成20年度実績4件85,372円	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( S 38 年度 ~ H 24 年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 店舗改装資金の借入件数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	平成20年度にて終了しているため計画なし。	イ 勤業資金の借入件数	件
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	合併前の旧隼人町内の商工業者で店舗改装資金及び勤業資金を借りていた人で現在も返済中の人 < 補助金交付先 > 霧島市商工会 < 補助対象活動 > 借入資金の返済に伴う利子補給	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	利子負担が軽減する。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	商工業者の経営が安定する。	名称	単位
		ア 借入れをしている事業者数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 借入金の残額	円
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 利益が出ている事業所(法人市民税の課税者数)	事業所
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	237	171	86	0	
事業費計(A)	千円	237	171	86	0			
活動指標	ア	件	2	2	1			
	イ	件	3	3	3			
	ウ							
対象指標	ア	人	5	5	4			
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	円	20,750,965	17,635,397	0			
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	事業所	2,856	3,009	3,025			
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和38年から旧隼人町で商工業者の経営の安定を図るために施行している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 旧隼人町で制定され、現在は継続のみ補助対象。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	店舗改装利子補給事業及び勤業資金利子補給事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課
-------	------------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	商工業者にとって運営・設備資金の調達には事業経営に不可欠であり、その借入資金に利子補助を行い、負担を軽減することは商工業の経営安定につながる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	中小企業の経営は厳しい状況にあり、地域に根ざしている地元企業の育成・保持のための行政支援も必要とされている。また、事業経営の安定化は消費者である市民の受益にも繋がるため、公共関与は妥当。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	[対象]合併後は旧単人町時代からの継続分のみとしており、現在は新規の受付は行っていない。合併後は霧島市商工業資金利子補給補助金に一本化しており、今は経過措置期間中である。 [意図]利子の負担軽減は商工業の安定に繋がるために妥当である。
効果 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	対象者は経営を続けており、最長の返済者は平成24年度までである。現在は経過措置期間中である。新規借入者は霧島市商工業資金利子補給補助金を利用するので、当事業の成果の向上余地はない。
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	本事業を廃止しても、事業者が資金の借り換えを行い、商工業資金利子補給補助金を活用すれば、影響はない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 霧島市商工業資金利子補給補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	現在本市で実施している霧島市商工業資金利子補給補助金へ統廃合できる。ただしこの店舗改装・勤業資金利子補給事業は現在新規借入はないものの、現在既存借入者の支払終了期限となるまでの経過措置期間であるため、その後の統廃合となる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	返済中の利子金額が決まっているため、本人が繰り上げ返済を行い返済額の変更が生じるなどの変更がなければ削減余地はない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	商工会から年度末の一括申請により利子補給を行っており、事務の簡素化が図られているため、業務時間の負担は少ない。これ以上の削減は難しい。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	旧単人町の商工会会員で既に借入をしているものが対象であり、一部の受益者に偏っているが、経過措置(H24年度までで終了する予定)であり、見直し余地はない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	合併前の事業のであり、受益者が限られている。経過措置期間が終了したら、すみやかに廃止し、市商工業資金利子補給交付金への一本化を行う。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 合併前の事業であり、受益者が限られている。経過措置期間が終了したら、速やかに廃止し、市商工業資金利子補給交付金への一本化を行う。それまでは現状維持とする。																										
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。																											

政策体系	No.	610-140	事務事業名	霧島ふるさと祭実行委員会活動支援事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	所 属 課	商工観光政策課	
	施策名	0 2	商工業の振興	課 長 名	細山田 孝文	
	基本事業名	0 2	買物しやすい環境の確保	所 属 G ( 係 )	政策グループ	
				電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令
	一般	0 7	0 1	0 1	100090	商工総務費	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島ふるさと誕生祭実行委員会に霧島ふるさと誕生祭の運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。会場はビックセンターお祭広場で入場は無料。 (同実行委員会の活動)実行委員会の開催、霧島ふるさと誕生祭の実施 同実行委員会は、商店街の活性化と住民の連帯感を得ることを目的に開催される霧島ふるさと誕生祭の運営を行う団体。商工会議所が事務局で霧島市商工会や市内事業者を会員として運営されている。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 平成20年度の実行委員会において、隔年実施と決定した。 平成21年度の計画はなし。  対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民、出展業者 <補助対象団体>霧島ふるさと祭実行委員会 <補助対象活動>霧島ふるさと祭実行委員会の運営及び活動に要する経費  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 霧島市の特産品や地元業者を知ることができる。 自社及び自分の店で製造・販売している特産品や工業製品を市民に販売・PRできる。  結果(どんな結果に結び付けるのか) 商店街・通り会が賑わう。 環境が整い、買物がしやすくなる。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 来場者数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 霧島市の人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 出展者数</td> <td>店舗</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 特産品や地元業者を知ることができた人の数(来場者数)</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 特産品や工業製品を市民に販売・PRできた業者の数(出展者数)</td> <td>店舗</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 空き店舗率</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 大規模小売店舗の売り場面積</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 来場者数	人	イ		ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 霧島市の人口	人	イ 出展者数	店舗	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 特産品や地元業者を知ることができた人の数(来場者数)	人	イ 特産品や工業製品を市民に販売・PRできた業者の数(出展者数)	店舗	ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 空き店舗率	%	イ 大規模小売店舗の売り場面積	m <sup>2</sup>	ウ	
名称	単位																																								
ア 来場者数	人																																								
イ																																									
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 霧島市の人口	人																																								
イ 出展者数	店舗																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 特産品や地元業者を知ることができた人の数(来場者数)	人																																								
イ 特産品や工業製品を市民に販売・PRできた業者の数(出展者数)	店舗																																								
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 空き店舗率	%																																								
イ 大規模小売店舗の売り場面積	m <sup>2</sup>																																								
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		3,500	4,325	0		
		事業費計(A)	千円	0	3,500	4,325	0		
活動指標		ア 人		70,000	20,000	0			
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,811	128,383			
		イ 店舗		151	200	0			
成果指標		ア 人		70,000	20,000	0			
		イ 店舗		151	200	0			
上位成果指標		ア %	14.7	13.9	18.5	14.6			
		イ m <sup>2</sup>	86,214	107,646	134,219	140,000			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年11月の市町村合併で誕生した霧島市の市民の一体感を高めることを目的に、平成19年に商工会議所・商工会を中心とした実行委員会により開始された。市は平成19年度より同実行委員会の運営及び活動に要する経費の支給を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成20年度の実行委員会で、協賛金の徴収等で地元業者への負担が大きいため、隔年で実施することが決定した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	霧島ふるさと祭実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課															
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																				
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島ふるさと祭実行委員会へ補助金を交付し、ふるさと祭を開催することは、祭りの会場である中心市街地に沢山の市民が訪れ、商店街・通り会が賑わうので結びついている。																		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市は、商工会や商工会議所・商店街と連携し商店街の活性化を図る必要があり、まつりを開催することで、中心市街地や通り会が賑わうので妥当である。																		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は、霧島ふるさと祭に訪れる市民と出展業者で妥当である。意図は霧島ふるさと祭を開催することにより沢山の市民が訪れ商店街・通り会が賑わうので妥当である。																		
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? まつりの主催者である商工会議所がまつりの運営に関して、もっと地元の商店街や通り会の参画を呼びかければ、まつりのマンネリ化を抑えられ、参加者や見物客が増える余地がある。																		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 廃止すれば、まつりが実施できなくなり、会場である歴史の古い地元商店街や通り会の活性化が図れなくなる。																		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ ↷ 各種農業祭 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的が異なるので統廃合できない。																		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 実行委員会に市内の企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金の交付事務は最低限の事務で行っており削減余地はないが、当日の運営は実行委員会のメンバーの動員を増やし、ボランティアスタッフ等を募集すれば職員の動員はならず削減余地はある。																		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 霧島ふるさと祭は、霧島市全市民を対象とした催しであるので、同実行委員会へ補助金を交付することは公平・公正であると思われる。また、入場料を徴収することは催しの趣旨からそぐわない。																		
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																				
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		実行委員会が発足して1年しかたっていないが、今後はスポンサー制度の導入や、物販の売上げ等で運営費を賄えるようになり、自助で開催することが理想である。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加																	
向上																				
維持																				
低下																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内の企業にスポンサーの要望をする。 市内の企業、学校等にボランティアスタッフの募集をする。																				

No.	610-150	事務事業名	タウン・マネジメント事業支援事業				所 属 部	商工観光部
							所 属 課	商工観光政策課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課 長 名	細山田 孝文
	施策名	0 2	商工業の振興				所 属 G(係)	商工労政グループ
	基本事業名	0 2	買物しやすい環境の確保				電 話 番 号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 8	0 5	0 1	117015	中心市街地活性化事業	中心市街地の活性化に関する法律	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
<市の活動> 中心市街地活性化のためのタウンマネジメント事業について補助を行う。 <商工会議所の活動> ・複合商業施設整備事業… 国分パークプラザの施設運営を行い拠点地区の魅力向上、再開発の研究を行う。 ・タウン誌事業… 中心市街地の情報、TMO活動等の紹介を情報誌に掲載し、配布やホームページを利用し情報発信を行う。 ・空き店舗対策事業… 中心市街地の空き店舗増加の抑制のため、不足業種の誘致及び支援を行い、空き店舗を埋め、商店街の活性化を目指す。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 13 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		ア	中心市街地の賑わいのためのイベント開催
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 中心市街地を利用する市民、来街者 霧島商工会議所 団体の事業運営(カード事業・タウン誌情報・空き店舗対策事業等)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	中心市街地を利用する市民・来街者
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・イベントの開催等で中心市街地の賑わいを創出する。 ・魅力あるまちづくりを行う。 ・情報提供、情報発信を行い中心市街を活性化させる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	イベントに参加した市民・来街者
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 商店街・通り会が賑わう。 環境が整い買物がしやすくなる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	空き店舗率
		イ	大規模小売店舗の売り場面積
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	306,000	5,800	5,231	4,860		
	事業費計(A)	千円	306,000	5,800	5,231	4,860			
活動指標		ア	回/年	12	6	3	1		
対象指標		ア	人	未把握	未把握	未把握	1,369		
成果指標		ア	人/回	100	100	100	1,000		
上位成果指標		ア	%	14.7	13.9	18.5	14.6		
		イ	m	86,214	107,646	134,219	140,000		
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成11年3月に策定した中心市街地活性化基本計画に基づき、まちづくり機運の醸成と中心市街地活性化事業の円滑な推進のため、TMOが設立された。TMOが活性化のための事業を実施するにあたり、事業に対し補助を行うものである。補助金交付は平成13年度から行っている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
大型店舗が閉店するなど、中心市街地の衰退が危惧されていたが、旧国分市役所跡地での霧島国分山形屋の開店、旧国分山形屋跡地の国分パークプラザ建設(2階部分に市民サービスセンター設置)など新しい街の流れが生まれてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	タウン・マネジメント事業支援事業	所属部	商工観光部	所属課	商工観光政策課
-------	------------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ ソフト事業を実施することによって、中心市街地の賑わいが創出され魅力ある街づくりに繋がる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 郊外型大型店舗の建設により、中心街店舗の空洞化がみられ、中心市街地の活性化を目的とする市としても、対策が必要となっているが、市が行えないソフト部分の事業を商工会議所で実施しているという理由で公益上必要である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 多数の市民と商店に関わりのある商工会議所に対する事業であることから、効果は市民に及ぶと思われるため妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 霧島商工会議所が実施している中心市街地活性化のためのタウン・マネジメント事業について補助を行うものであり、事業内容を充実させることにより、さらに成果の向上は図られる。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ タウンマネジメント事業は、市の補助金と霧島商工会議所の資金で実施しており、廃止又は休止すると中心市街地の活性化対策が停滞してしまう恐れがある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業が無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 国分パークプラザの建設が完了し、事業は次の展開へ進んでいる。今後軌道に乗れば、ソフト事業においても自主事業として実施することができれば、事業費の削減が図られる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 運営補助事業であるため、あまり人件費(業務時間)は掛けていない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ イベントの開催や情報提供、情報発信を行い中心市街を活性化させるものである。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	中心市街地活性化基本計画にあるTMO構想に基づくソフト事業を展開してきており、活性化を図ってきている。継続的に進めることが大切であり、TMO事業としても軌道に乗ってきたと思われる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 事業全体として、軌道に乗ってきているので、自主事業として運営できるようにする。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 中心市街地の活性化を図るためには、TMOによるソフト事業も必要不可欠である。平成19年7月に、会議所ビルである「国分パークプラザ」も建設され、新たな事業展開もされているので、今後軌道に乗れば、ソフト事業についても自主事業として実施できないかという検討も必要である。

政策体系	No.	630-050	事務事業名	霧島国分夏まつり実行委員会活動支援事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり		所 属 課	観光課
	施策名	0 2	商工業の振興		課 長 名	横手 航太郎
	基本事業名	0 2	買物し易い環境の確保		所 属 G ( 係 )	観光グループ
					電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市国分夏まつり実行委員会に霧島市国分夏まつりの活動補助として補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。 (同実行委員会の活動)実行委員会の開催、まつり(神輿競争・市民総踊り・市中パレード等)の実施 同実行委員会は、商店街の活性化と地域住民の福祉を目的に開催される霧島市国分夏まつりの運営を行う団体。商工会議所や市内事業者を会員として運営されている。 <関連計画>霧島市観光基本計画		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( S 42 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 ア まつりに参加した踊り連の団体数 単位 団体 イ 神輿競争への参加者数 人 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 人口 単位 人 イ 商工会議所会員数 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 <補助金交付先>霧島商工会議所 <補助金対象活動>霧島市国分夏まつりの活動に関する経費		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア まつりの来場者数 単位 万人 イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 総踊り、神輿競争への参加、まつりの見物ができる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 空き店舗率 単位 % イ 大規模小売店舗の売り場面積 m <sup>2</sup> ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 商店街・通り会が賑わう。 環境が整い買物がしやすくなる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	12,500	5,270	11,771	10,593		
		事業費計(A)	千円	12,500	5,270	11,771	10,593		
				*中止					
活動指標		ア 団体	88	88	88	90			
		イ 人	176	0	176	176			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,811	128,383			
		イ 人	1,232	1,232	1,376	1,376			
		ウ							
成果指標		ア 万人	150,000	0	120,000	130,000			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	14.7	13.9	18.5	14.6			
		イ m <sup>2</sup>	86,214	107,646	134,219	140,000			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和42年度に旧国分市の八坂通り商店街の「お祇園さあ」のお祭りが派生して、夏の風物詩として現在まで霧島商工会議所が商店街の活性化地域住民の福祉を図る目的で開始した事業	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	霧島国分夏まつり実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島市国分夏まつり実行委員会へ補助金を交付し、まつりを開催することは祭りの会場である中心市街地に沢山の参加者や見物客が訪れ、商店街・通り会が賑わうので結びついている。																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市は、商工会・商工会議所・商店街と連携し商店街の活性化を図る必要があり、まつりを開催することで、中心市街地や通り会が賑わうので、妥当である。																								
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は、まつりに参加・来訪する市民であり妥当である。意図は、市民が総踊り、神輿競争への参加、まつりの見物をする事によって商店街・通り会が賑わうので妥当である。																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? まつりの主催者である商工会議所がまつりの運営に関して、もっと地元の商店街や通り会の参画を呼びかければ、まつりのマンネリ化を抑えられ、参加者や見物客が増える余地がある。																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 廃止すれば、まつりが実施できなくなり、会場である歴史の古い地元商店街や通り会の活性化が図れなくなる。																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 隼人夏まつり、横川夏まつり <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 実施主体も異なり地域に根差したまつりであり、統合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 実行委員会に市内の企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金の交付事務は最低限な事務であり、人件費の削減余地はない。																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市内には自助で開催している夏まつりも多数存在しているが、霧島市国分夏まつりは、霧島市全市民を対象としたまつりであるので、同実行委員会へ補助金を交付することは公平・公正であると思われる。また、入場料を徴収することはまつりの趣旨からそぐわない。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地元企業の説得 商店街との協議																										



No.	630-060	事務事業名	市特産品協会運営支援事業			所 属 部	商工観光部
			所 属 課	観光課			課 長 名
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			所 属 G ( 係 )	観光グループ
	施策名	0 2	商工業の振興			電 話 番 号	45-5111
	基本事業名	0 3	ブランド化の推進				

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市内に存在する2団体にの運営費補助として補助金を交付している。H21年度に2団体が合併し1団体となる。 (市の活動) 各特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。 (特産品協会の活動) 地域の特産品の開発及び特産品の販路拡大を目的に設立された団体。市内事業者が加盟		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 10 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 ア 特産品協会が開発した特産品の数(延べ) 単位 個	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		イ ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 特産品協会会員 <補助金交付先>特産品協会 <補助金対象活動>特産品の開発、宣伝に要する経費		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 会員数 単位 人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 新たな特産品が開発される。 特産品をPRするために物産展等に参加できる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 開発された特産品の数(平成20年度) 単位 個 イ 霧島ブランドの販売額(商工業) 万円 ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 競争力を強化する。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 荒茶生産量 単位 t イ ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,000	1,350	1,282	1,329	
事業費計(A)		千円	1,000	1,350	1,282	1,329		
活動指標		ア 個	2	3	0	3		
対象指標		ア 人	84	84	84	98		
成果指標		ア 個	2	5	0	3		
		イ 万円	556	583	611	639		
上位成果指標		ア t	1,580	1,578	1,763	1,624		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成10年より地域の特産品の開発及び特産品の販路拡大を目的に設立された特産品協会へ運営補助を交付した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	市特産品協会運営支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	特産品協会へ活動補助金を交付することにより、新たな特産品の開発や特産品をPRするための物産展等への参加が行えるようになり、霧島ブランドの競争力を強化することに結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市は、恵まれた自然環境や地域文化に根ざした多くの特産品について、ブランド化を推進する必要があるので妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は、補助金を交付し事業を行う特産品協会であるので妥当である。意図は、新たな特産品の開発や特産品をPRするための物産展等への参加が行えるようになり、霧島ブランドの競争力を強化することに結びつくので妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	市内特産品協会が統合することにより、市内全域の特産品を効果的に情報発信ができ、成果の向上がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	新たな特産品の開発とPR活動ができなくなり、霧島市のブランド力が落ちることになり支障がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	自主財源が少なく、これ以上の削減は特産品協会の運営に支障をきたすが、市内の特産品協会が統合すれば、事業費の削減が見込める。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	補助金交付事務のみであり、削減余地はないが、市内の特産品協会が統合すれば、交付事務が1度で済み、人件費の削減に繋がる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	特産品協会へ補助金を交付することにより、霧島ブランドの競争力が高まれば、関連事業者への経済効果も大きく、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市内特産品協会の早期統合を図ることにより、成果の向上と人件費、事業費の削減が望める。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整する必要がある。 特産品協会の統合に向けた協議会の立ち上げ																							